

# 生理用品を本当に必要な人へ

## 広告を活用する公民連携、費用負担なく新型機器設置

◎写真あり

市は、現在実施している生理用品の無料提供について、適正利用の確保に向けた課題の解消のため、民間企業が庁舎別館内の一部を広告掲載スペースとして利用し、その広告料を生理用品ディスペンサーの設置費用やランニングコストに充てる公民連携事業を、4月1日から開始する。

市は現在、紙製のディスペンサーを用いて生理用品を提供しているが、破壊され大量に持ち去られるなどの課題があった。新しく設置するディスペンサーはシャープ株式会社の「todokuto(トドクト)」という機器。取り出し間隔を設定できるため課題の解消につながる。またアプリの利用登録などが必要な機器もあるが、当該機器は不要。市の担当者は「利用者の負担を増やすことなく、本当に必要な人に届くことを期待している」と話す。

本事業は公民連携プラットフォームを通じて長田広告株式会社から提案のあったもので、機器や設置工事だけでなく、保守費用や生理用品の一部も広告料で賄うこととしており、市は補充作業等を担う。なお広告料による「todokuto」の設置は全国初。

★ 生理用品ディスペンサー「todokuto」は、1枚取り出したあとに次の取り出しが可能になるまでの時間を設定できるため、大量持ち去りの抑制が期待できる。また本体に触れることなく、手をかざすだけで取り出せるため衛生面にも配慮。市役所本館・別館の女性用トイレおよび多目的トイレ計13か所に設置する。同機器は生理用ナプキン専用のため、タンポンについては引き続き紙製ディスペンサーにて提供する。

★ 公民連携プラットフォームより長田広告株式会社から提案があり、協議の上、2月27日に協定を締結した。

★ 広告は市役所別館1階・2階エレベーターホールにB1サイズ、エレベーター内にB3サイズのパネル広告を計6台設置する。



▲今回新たに設置された生理用品ディスペンサー

<お問い合わせ>

総務部総務管理課

☎ : 072-841-1323 FAX : 072-841-3039 Mail : ssoumu@city.hirakata.osaka.jp